

一般財団法人日本花普及センター
令和5年度 事業報告及び決算について

自 令和5年 4月 1日
至 令和6年 3月 31日

一般財団法人日本花普及センター 令和5年度 事業報告

I 法人の概況

1. 設立年月日

平成 3 年 3 月 2 5 日 財団法人日本花普及センターの設立登記
平成 2 5 年 1 0 月 1 日 一般財団法人日本花普及センターへ移行登記

2. 定款に定める目的

本財団法人は、花と緑の普及に関する全国的な啓発活動、総合的な調査研究、国際交流等の業務を行うことにより、花と緑の普及による国土緑化を推進し、もって潤いのある豊かな社会の実現に寄与することを目的とする。

3. 定款に定める事業内容

- (1) 花と緑の普及に関する活動の実施及び支援
- (2) 花と緑の普及を図るための講習会、シンポジウム、交流会等の開催
- (3) 花と緑の普及を図るための指導者等人材の育成及び情報の提供
- (4) 花と緑に関する基礎的資料の整備及び総合的な調査研究並びに花き産業に関する総合的な調査研究
- (5) 我が国の花と緑に関する園芸技術・文化の紹介等を通じた国際交流の推進
- (6) その他この法人の目的達成に必要な事業

4. 所管官庁に関する事項 内閣府

5. 賛助会員の状況

区 分	令和6年3月	備考
A会員（1口10万円 都道府県、団体、企業等）	34	
B会員（1口5万円 団体、企業等）	12	
C会員（1口3万円 市町村、団体、企業等）	18	
個 人（1口1万円）	15	
合 計	79	

6. 主たる事務所の状況

主たる事務所：東京都中央区東日本橋3丁目6番17号 山一ビル4階

7. 役員等に関する事項

令和5年6月の評議員会で、役員（理事及び監事）の選任及び評議員の一部改選が行われた。その後、令和5年度第2回理事会（書面）で、会長、副会長、専務理事が選定された。

（注）令和5年7月11日付けで登記済み（東京法務局）

8. 職員に関する事項

事務局長	月山光夫
参与	西岸芳雄
事業部長	星 敦子(注1)
企画調査部調査役	斉藤健一(注2)
総務部総務課長	佐藤俊幸
契約職員：企画調査部主任調査員	三井直子

（注1）一般社団法人日本花き卸売市場協会からの出向職員（非常勤の事業部長）

（注2）一般社団法人全国花き輸出拡大協議会への出向職員

(一財)日本花普及センター

役員(理事及び監事)

令和5年6月23日現在

氏名	役職	所属先	役職
小栗 邦夫	代表理事 (会長)	公益財団法人日本特産農作物種苗協会	理事長
岡本 正夫	代表理事 (副会長)	一般社団法人日本花き生産協会	顧問
月山 光夫	専務理事 (業務執行理事)	一般財団法人日本花普及センター	事務局長
青島 英俊	理事	一般社団法人JFTD	事務局長
上田 奈美	理事	一般社団法人日本ハンキングバスケット協会	理事長
腰岡 政二	理事	公益財団法人日本植物調節剤研究協会	理事
金野 俊和	理事	公益社団法人日本フラワーデザイナー協会	参与
穴倉 孝行	理事	一般社団法人日本植木協会	顧問
柴田 道夫	理事	東京大学(農学生命科学研究科)	名誉教授
福田 豊治	理事	一般社団法人日本種苗協会	専務理事
福永 哲也	理事	一般社団法人日本花き卸売市場協会	会長
和田 新也	理事	一般社団法人日本造園建設業協会	会長
渡辺 均	理事	千葉大学 環境健康フィールド科学センター	教授
東方 久男	監事	東方公認会計士事務所	公認会計士 税理士
前田 安正	監事	一般社団法人日本花き卸売市場協会	元専務理事

⑨所属先・役職は令和5年7月末現在

（一財）日本花普及センター
評 議 員

令和5年6月23日現在

氏名	役職	所属先	役職
上田 善弘	評議員	福山市市長公室 ぎふワールド・ローズガーデン	世界ハナ会議推進プロジェクトマネージャー 理事
大林 修一	評議員	一般社団法人日本インドア・グリーン協会	理事長
片山 博昭	評議員	公益財団法人国際花と緑の博覧会記念協会	専務理事
木本 孝行	評議員	一般社団法人全国花卸協会	会長
小林 徹	評議員	一般社団法人日本生花商協会	副理事長
須磨 佳津江	評議員	キャスター	
土井 元章	評議員	京都大学	名誉教授
富田 祐次	評議員	一般財団法人日本造園修景協会	顧問
棚野 良明	評議員	公益財団法人都市緑化機構	専務理事
羽田 光一	評議員	公益社団法人日本家庭園芸普及協会	顧問
菱沼 義久	評議員	公益財団法人中央果実協会	副理事長
森島 茂男	評議員	公益財団法人日本花の会	常務理事 兼事務局長

Ⅱ 事業の状況

1. 事業の概要

今年度は、定款に基づき、花と緑の普及による国土緑化を推進し、もって花と緑による潤いのある豊かな社会の実現に寄与するため、花と緑の普及に関する全国的な啓発活動を実施するとともに、花と緑に関する総合的な調査研究、国際交流等を実施した。

なお、花と緑の関係団体等と連携を図りつつ実施体制を確保するとともに、効果的に事業を実施した。

2. 花と緑の普及による国土緑化の推進事業の内容

(1) 花と緑の普及啓発関係

イ 花育活動の支援

全国花育活動推進協議会の事務局として業務運営に当たってきたが、令和3年度をもって事業終了・協議会は解散した。協議会解散後も、日本花普及センター独自の活動として、副読本・事例集の配布等、花育活動への支援は可能な限り行った。

ロ「花っていいよね。キャンペーン」の推進

「花のある豊かで潤いのある生活」の実現に向けた普及啓発活動として、平成18年度から取り組んでいる「花っていいよね。キャンペーン」については、引き続きその標語とシンボルマークの活用を花き関係団体等に広く呼びかけて、全国的な運動として推進した。



ハ 花き業界統一販売促進キャンペーンの推進

花き業界関係者の幅広い参加により、新たな花きの需要拡大対策として、くらしの中に花と緑を取り入れるため、職場での「フラワービズ」、家庭での「フラワーフライデー」などに取り組み始めるとともに、一般社団法人花の国日本協議会では、フラワーバレンタイン等の物日対策とともに、週末を花で彩る暮らし「ウィークエンドフラワー」を提案しており、当センターとしても、引き続き、これらの活動に協力した。

また、全国鉢物類振興プロジェクト協議会の活動として「いい夫婦の日」「フラワーバレンタイン」のタグ・ラベル活用、母の日ポスター作成・配布などの取組も進めた。



花と素敵な週末を。



ニ 鉢物類振興プロジェクトの推進

全国の鉢物類の生産者や花き卸売会社が主体となって、鉢物類の消費拡大などを進めるため、令和元年4月に全国鉢物類振興プロジェクト協議会が発足した。当センターは、その事務局として各種検討委員会の開催、鉢物類効用調査の実施、都市公園等との連携によるモデル花壇の整備等の推進を実施してきた。

さらに鉢物類の効用調査や消費拡大の取組を進めるため、令和5年度も、国の補助事業を活用し、引き続き、事務局として業務運営に当たった。なお、今後の協議会及び事務局の扱いを検討した。

- 4月14日 第1回運営会議
- 6月19日 協議会通常総会
- 7月05日 第1回実証事業検討委員会
- 7月24日 第1回鉢物類効用調査検討委員会
- 10月4日 第2回運営会議
- 2月13日 第2回実証事業検討委員会＋第3回運営会議
- 3月12日 第2回鉢物類効用調査検討委員会

<鉢物類効用調査>

企業オフィス等における鉢物類効用調査（個人作業ディスク向けの屋内緑化による癒し効果調査）	関東・近畿の企業等1か所 ◎兵庫県 M市役所
--	---------------------------

＜フラワー&グリーンマルシェのモデル的開催等地区＞

茨城県：茨城県鉢物類品評会（ジョイフル本田ニューポートひたちなか店で開催）	三重県：なばなの里
埼玉県：深谷グリーンパーク	大阪府：泉大津池上曽根遺跡公園、南海本線松ノ浜駅前ロータリー、泉大津図書館
東京都：駒沢オリンピック公園	大阪府：天王寺駅等、大門公園
東京都：国営昭和記念公園	兵庫県：明石公園、加西フラワセンター
東京都：ボタニカルフェア2023	広島市：平和大通りの花壇、広島市植物園、ひろしまゲートパーク
静岡県：清水マリンパーク、駿府城公園、清水日本平運動公園	福岡県：福岡市植物園

鉢物類効用調査の成果：日本花普及センターのHPに掲載（PDF版）

日本花普及センターのHP⇒全国鉢物類振興プロジェクト協議会のホームページ（普及版）を開設しました <https://sites.google.com/view/hachipuro1>

ホ 後援・表彰等による支援

地方自治体や花き関係団体等が行う各種品評会やコンクール、展示会等に対する後援、協賛等を引き続き行った。

＜令和5年度 後援、賞状、協賛等＞

項 目	点 数
後 援	16
賞 状	15
協 賛	1
協 力	2

令和5年度表彰事業等一覧表（後援・賞状・協賛等）

No.	事 項 名	申請内容	
1	第3回全国高校生花生けバトル岐阜地区大会	後援	1
2	第65回日本ばら切花品評会	賞状	1
3	第7回全国高校生花いけバトル全国大会	後援	1
4	第7回全国高校生花生けバトル香川地区大会	後援	1
5	2023年度全国洋らん品評会	後援	1
6	第25回 FAJインドアプランツコンテスト	後援 賞状	1 1
7	令和5年度大和路プチガーデニングコンテスト	賞状	1
8	第40回岐阜県花き品評会	賞状	1
9	第11回横浜イングリッシュガーデン ハングングバスケット コンテスト	後援 賞状	1 1
10	令和5年度沖縄国際洋蘭博覧会	後援	1
11	第41回徳島県花き展示品評会	賞状	1
12	JFTDフラワーデザインコンテスト愛知	後援	1
13	第41回フラワーデザイン競技会 2024ジャパンカップ	賞状	1
14	世界らん展2024 花と緑の祭典	協力	1
15	クリスマスローズの世界展2024	協力	1
16	フラワートライアルジャパン2023秋	後援	1
17	令和5年度長崎県花き品評会	後援 賞状	1 1
18	フラワーウェーブ新潟2024	賞状	1
19	令和5年度新潟県花きコンテスト	賞状	1
20	施設園芸・植物工場展2024	協賛	1
21	第53回鹿沼さつき祭り	後援 賞状	1 1
22	東海地域鉢物品評会2024観葉植物の部	後援 賞状	1 1
23	東海地域鉢物品評会2024鉢花・蘭の部	後援 賞状	1 1
24	2024春 FAJポットプランツコンテスト	後援 賞状	1 1
25	国営越後丘陵公園「国際香りのばら新品種コンクール」	後援 賞状	1 1
26	屋内緑化コンクール2024	後援 賞状	1 1

（２） 調査研究関係

イ 日本花き取引コード普及促進協議会への参加・協力

日本花き取引コード普及促進協議会の事務局が、令和４年度から一般社団法人日本花き卸売市場協会に移管されたので、協議会活動に参加・協力した。

６月 28 日 日本花き取引コード普及促進協議会総会

ロ ジャパンフラワーセレクション（新品種コンテスト）の実施

国内外の花きの新品種の中から、優れた品種を選んで生活者の花や緑のあるライフスタイルを質的に向上させること、新品種の開発・導入の水準を向上させること、花き産業の発展を図ることを目的として、平成 18 年度から実施されているジャパンフラワーセレクション(JFS)を支援するとともに、ジャパンフラワーセレクション実行協議会の事務局として業務運営に当たった。

具体的には、切花、鉢物及びガーデニングの３部門毎に審査会を行うとともに、JFSの年間入賞品種の中から、各部門毎にフラワー・オブ・ザ・イヤー（最優秀賞）や特別賞を決定して公表した。また、受賞品種のPRについては、関東東海花の展覧会等の全国的な普及イベントと連携して展示紹介した。

なお、令和元年 12 月 3 日開催の臨時理事会の結果を踏まえ、料金改定など運営改善を講じるとともに、本事業を担っていただける者を探している。

また、令和 6 年度の実施の可否については、当センターの令和 5 年度収支見込・将来展望などを踏まえて検討するとしていたが、実施することとした。なお、今後の協議会及び事務局の扱いを検討した。

６月 28 日 ジャパンフラワーセレクション実行協議会理事会

審査会を順次開催

＜切花部門＞

春審査：４月 7 日（大田市場花き部）

秋審査：10 月 16 日（大田市場花き部）

＜鉢物部門＞

春審査：５月 19 日（大田市場花き部）

秋審査：11 月 21 日（大田市場花き部）

＜ガーデニング部門＞千葉大学環境健康フィールド科学センター

審査会①6 月 20 日

②7 月 25 日

③9 月 12 日

④11 月 7 日

＜中央審査委員会＞

11 月 21 日（大田市場花き部）

12 月 13 日 公表

日本フラワー・オブ・ザ・イヤー2023「最優秀賞」受賞品種



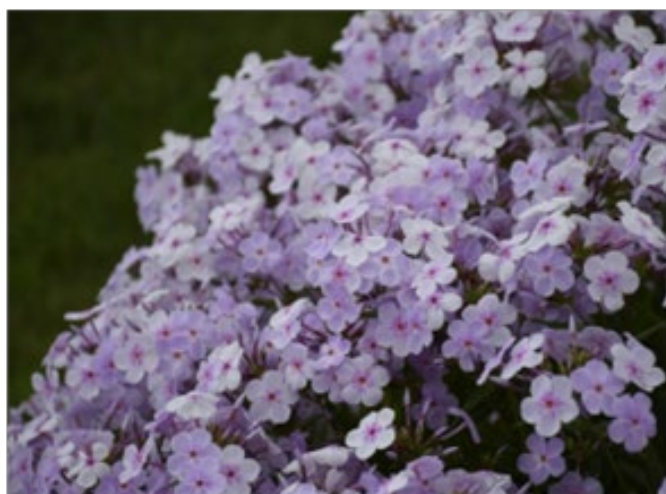
切花部門: トルコギキョウ エグゼアンティークピンク



鉢物部門: シクラメン イリュージア ピンクラテ



ガーデニング部門: ペチュニア サフィニアブチ さくらもこもこ



ガーデニング部門: フロックス オープニングアクト ピンクアドット



ガーデニング部門: ブッドレア バグスター アメジスト

関東東海花の展覧会で展示



ハ 花き技術・経営コンクールの公募・調査・表彰

今年度も、引き続き、花きの生産構造の改善に資するため、都道府県や花き関係団体に広く呼びかけて第33回花の国づくり共励会花き技術・経営コンクールの公募を行い、12月に審査会を開催し、2月には受賞者の概要を取りまとめて公表した。なお、農林水産大臣賞の受賞者は、翌年度の農林水産祭天皇杯等候補として推薦される。

- 7月 農林水産祭参加申し込み、後援名義使用承認申請
- 9月20日 公募通知（参加申し込み呼びかけ：都道府県、団体へ）
HPに実施要領・様式を掲載
- 9月19日～10月31日 出品募集期間
- 11月中旬～ 予備審査
- 12月14日 審査会
- 12月25日、26日 現地調査
- 2月2日 公表

<第33回花の国づくり共励会花き技術・経営コンクール受賞者一覧>

受賞区分	都道府県	受賞者名	生産品目
農林水産大臣賞	神奈川県	窪田 敬一 窪田 鈴江	鉢物（ガーデンシクラメン、マリーゴールド、パンジー・ビオラ、プリムラ類など）
農林水産大臣賞	愛知県	山田 裕也	切花（スプレーギク）
農産局長賞	佐賀県	山口 豊喜	切花（カーネーション）
農産局長賞	長崎県	吉村 晴喜 吉村 節子	切花（アスチルベ、センニチコウ）

ニ 全国花のまちづくりコンクールの公募・調査・表彰

今年度も、引き続き、花と緑によるゆとりある地域づくりを推進するため、当センターを含めた花き関係団体4団体で花のまちづくりコンクール推進協議会を組織して、第33回全国花のまちづくりコンクールを実施した。

7月25日 企画・幹事会（審査の進め方）
 8月03日 第1次審査委員会
 8月 現地審査
 9月07日 第2次審査委員会
 9月29日 審査結果公表

部 門	
○花のまちづくり大賞 農林水産大臣賞	
団体部門	（和歌山県那智勝浦町）花てまりの会
個人部門	（兵庫県香美町）太田 よしの
○花のまちづくり大賞 国土交通大臣賞	
団体部門	（静岡県浜松市） 天浜線 人と時代をつなぐ 花のリレー・プロジェクト
団体部門	（愛知県碧南市）咲かそうひまわり
○花のまちづくり大賞 文部科学大臣賞	
学校部門	（富山県黒部市）黒部市立若栗小学校

ホ フラワーデータブックのデータ収集・編集（CDによる提供）

今年度も、引き続き、花き産業に関する基礎的なデータ集として「新訂フラワーデータブック」を取りまとめ、利用者がデータの加工しやすいCD形式で作成して賛助会員に無償配布した。また、民間企業、研究機関や個人等へも有料で配布する。

(3) 国際交流関係

イ 全国花き輸出拡大協議会への参加・協力

全国花き輸出拡大協議会の事務局が、令和4年度から一般社団法人日本植木協会に移管され、さらに、一般社団法人全国花き輸出拡大協議会となったので、協議会活動に参加・協力した。

5月22日	第1回企画運営委員会
6月08日	第1回理事会
7月10日	第2回理事会
7月13日	全国花き輸出拡大協議会総会
10月17日	第3回理事会
12月13日	第2回企画運営委員会
3月22日	第4回理事会

3. 役員会等に関する事項

令和5年度は、以下のとおり評議員会及び理事会等を開催ないし開催予定である。

(1) 第1回理事会

日時： 令和5年5月30日
場所： エッサム神田ホール1号館（オンラインとの組合せ）
審議事項： 令和4年度 事業報告及び決算について
令和5年度 事業計画及び収支予算の変更について
会長、副会長及び専務理事の職務執行状況の報告について
日本花普及センターの今後について

(2) 定時評議員会

日時： 令和5年6月23日
場所： エッサム神田ホール1号館（オンラインとの組合せ）
審議事項： 令和4年度 事業報告及び決算について
令和5年度 事業計画及び収支予算の報告について
役員（理事及び監事）の選任について
評議員の一部改選について
日本花普及センターの今後について

(3) 第2回理事会

日時： 令和5年6月23日付け
場所： 書面審査
審議事項： 会長、副会長、専務理事の選定について

(4) 賛助会員総会

日時： 令和5年11月28日
場所： エッサム神田ホール1号館（オンラインとの組合せ）
審議事項： 令和5年度事業の活動状況報告及び賛助会員の意見聴取等

(5) 第3回理事会

日時： 令和6年3月14日
場所： 都内会議室（オンラインとの組合せ）
審議事項： 令和5年度 事業実施状況報告について
令和6年度 事業計画及び収支予算について
会長、副会長及び専務理事の職務執行状況の報告について
日本花普及センターの事業・組織の「今後の方針（案）」について

4. 正味財産増減の状況並びに財産の状況の推移

単位：千円

事業年度	29年度	30年度	令和元年度	令和2年度
経常収益	25,070	36,603	42,638	19,587
経常費用	55,204	63,496	68,051	39,812
経常増減額	△31,120	△38,008	△19,628	△20,224
一般正味財産増減額	△31,120	△58,733	△18,053	△14,479
資産合計	218,397	189,671	154,512	118,641
負債合計	14,939	44,946	27,840	6,448
正味財産	203,458	144,725	126,672	112,192

事業年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
経常収益	21,405	21,705	18,647
経常費用	39,032	37,579	37,302
経常増減額	△17,627	△15,874	△18,654
一般正味財産増減額	△17,627	△15,874	△18,654
資産合計	100,346	83,399	65,765
負債合計	5,781	4,707	5,727
正味財産	94,565	78,691	60,037



花っていいね。キャンペーン



花っていいね。キャンペーン



花っていいね。キャンペーン

Ⅲ 法人の課題

1. 公益目的支出計画実施報告書の内閣府への提出

令和4年度公益目的支出計画実施報告書は、令和5年6月27日にネット申請し承認された。なお、内閣府から令和5年9月22日付の公益目的支出計画の実施完了の確認書が届いた。

府益担第797号

令和5年9月22日

一般財団法人日本花普及センター

代表者 小栗 邦夫 殿

内閣総理大臣臨時代理

国務大臣 松野 博一

公益目的支出計画の実施完了の確認書

貴法人から令和5年6月27日付けでされた、一般社団法人及び一般財団法人に関する法律及び公益社団法人及び公益財団法人の認定等に関する法律の施行に伴う関係法律の整備等に関する法律（平成18年法律第50号）第124条の規定に基づく公益目的支出計画の実施が完了したことの確認の請求について、公益目的支出計画の実施が下記の日に完了したことを確認します。

記

公益目的支出計画の実施が完了した日 令和5年3月31日

2. 日本花普及センターの今後について

令和6年3月14日開催の理事会において、令和6年度事業計画及び収支予算が審議され、日本花普及センターの解散・清算に向けた準備を進め、賛助会費の請求は行わない予算が承認された。

3. 花きの振興に関する法律の制定とその普及に向けた取り組み

全国花き振興協議会の構成団体等の要請活動もあり、平成26年6月に議員立法により「花きの振興に関する法律」（平成26年法律第102号）が成立し、平成26年12月1日に施行された。更に、農林水産大臣が定める「花き産業及び花きの文化の振興に関する基本方針」が策定されるとともに、各都道府県では、「花き産業及び花きの文化の振興に関する計画」が策定された。当センターとしては、関係団体と連携してこれらの普及浸透に積極的に参加協力した。

一般財団法人日本花普及センター

令和5年度 計算書類

自 令和5年4月 1日

至 令和6年3月31日

貸 借 対 照 表

令和6年3月31日現在

(単位:円)

科 目	当年度	前年度	増 減
I 資産の部			
1. 流動資産			
現金預金	55,739,909	71,992,515	△ 16,252,606
未収金	7,413,784	8,629,814	△ 1,216,030
流動資産合計	63,153,693	80,622,329	△ 17,468,636
2. 固定資産			
(1) その他固定資産			
リース資産	0	340,200	△ 340,200
電話加入権	220,584	220,584	0
敷金	167,200	152,000	15,200
保証金	1,032,600	1,032,600	0
保険積立金	1,190,520	1,031,641	158,879
その他固定資産合計	2,610,904	2,777,025	△ 166,121
固定資産合計	2,610,904	2,777,025	△ 166,121
資 産 合 計	65,764,597	83,399,354	△ 17,634,757
II 負債の部			
1. 流動負債			
未払金	740,638	319,000	421,638
未払法人税等	70,000	70,000	0
未払消費税等	177,100	52,100	125,000
一年内リース債務	0	340,200	△ 340,200
預り金	188,966	189,997	△ 1,031
流動負債合計	1,176,704	971,297	205,407
2. 固定負債			
退職給付引当金	4,550,656	3,736,594	814,062
固定負債合計	4,550,656	3,736,594	814,062
負債合計	5,727,360	4,707,891	1,019,469
III 正味財産の部			
1. 指定正味財産	0	0	0
2. 一般正味財産	60,037,237	78,691,463	△ 18,654,226
(うち特定資産への充当額)	(0)	(0)	(0)
正味財産合計	60,037,237	78,691,463	△ 18,654,226
負債及び正味財産合計	65,764,597	83,399,354	△ 17,634,757

正 味 財 産 増 減 計 算 書

令和5年4月1日から令和6年3月31日まで

(単位:円)

科 目	当年度	前年度	増 減
I 一般正味財産の部			
1. 経常増減の部			
(1) 経常収益			
特定資産運用益	0	2,492	△ 2,492
特定資産受取利息		2,492	△ 2,492
受取会費	5,090,000	5,240,000	△ 150,000
賛助会員受取会費	5,090,000	5,240,000	△ 150,000
事業収益	6,877,232	8,092,777	△ 1,215,545
ジャパンフラワー強化プロジェクト推進関係事業受託収益	5,077,232	6,042,777	△ 965,545
事務局業務受託収益	1,800,000	2,050,000	△ 250,000
雑収入	6,680,263	8,370,087	△ 1,689,824
受取利息	2,700	278	2,422
雑収入	6,677,563	8,369,809	△ 1,692,246
経常収益計	18,647,495	21,705,356	△ 3,057,861
(2) 経常費用			
事業費	28,347,983	33,109,479	△ 4,761,496
給料手当	11,071,312	13,515,806	△ 2,444,494
賃金	3,962,392	4,918,576	△ 956,184
退職給付費用	681,059	732,000	△ 50,941
福利厚生費	1,852,293	2,175,482	△ 323,189
会議費	55,550	60,463	△ 4,913
旅費交通費	320,300	328,645	△ 8,345
通信運搬費	641,908	611,206	30,702
消耗品費	565,268	795,288	△ 230,020
印刷製本費	53,867	63,756	△ 9,889
光熱水料費	198,930	203,450	△ 4,520
賃借料	3,421,686	2,793,008	628,678
手数料	79,086	155,655	△ 76,569
諸謝金	110,000	130,000	△ 20,000
租税公課	252,939	422,687	△ 169,748
支払負担金	2,769,600	2,759,000	10,600
図書購読費	61,476	31,476	30,000
発注費	1,427,947	1,603,198	△ 175,251
減価償却費	333,395	1,333,584	△ 1,000,189
雑費	488,975	476,199	12,776

科 目	当年度	前年度	増 減
管理費	8,953,738	4,470,170	4,483,568
給料手当	4,744,848	2,016,834	2,728,014
賃金	1,698,168	867,984	830,184
退職給付費用	291,882	129,176	162,706
福利厚生費	793,840	383,908	409,932
会議費	250,382	247,601	2,781
旅費交通費	355,011	262,397	92,614
通信運搬費	11,408	11,056	352
消耗品費	10,587	12,782	△ 2,195
印刷製本費	88	187	△ 99
光熱水料費	4,060	4,152	△ 92
賃借料	69,830	57,000	12,830
手数料	1,489	3,020	△ 1,531
諸謝金	691,035	419,655	271,380
租税公課	5,162	8,626	△ 3,464
支払負担金	12,000	12,000	0
減価償却費	6,805	27,216	△ 20,411
雑費	7,143	6,576	567
経常費用計	37,301,721	37,579,649	△ 277,928
当期経常増減額	△ 18,654,226	△ 15,874,293	△ 2,779,933
2. 経常外増減の部			
(1) 経常外収益			
経常外収益計	0	0	0
(2) 経常外費用			
経常外費用計	0	0	0
当期経常外増減額	0	0	0
当期一般正味財産増減額	△ 18,654,226	△ 15,874,293	△ 2,779,933
一般正味財産期首残高	78,691,463	94,565,756	△ 15,874,293
一般正味財産期末残高	60,037,237	78,691,463	△ 18,654,226
II 指定正味財産増減の部			
当期指定正味財産増減額	0	0	0
指定正味財産期首残高	0	0	0
指定正味財産期末残高	0	0	0
III 正味財産期末残高	60,037,237	78,691,463	△ 18,654,226

財 産 目 録

令和6年3月31日現在

(単位:円)

貸借対照表科目	場所・内容	金	額
(流動資産)			
現金預金	手元保管	42,651	
	普通預金		
	三井住友銀行	27,740,380	
	みずほ銀行	252,044	
	三菱UFJ銀行	90,066	
	農林中央金庫	443,910	
	ゆうちょ銀行	2,165,041	
	定期預金		
	大和ネクスト銀行	25,005,817	55,739,909
未収金	ジャパンフラワーセレクション実行協議会	1,800,000	
	全国鉢物類振興プロジェクト協議会	5,077,232	
	全国花き輸出拡大協議会	536,552	7,413,784
流動資産合計			63,153,693
(固定資産)			
その他固定資産			
電話加入権	NTT 3回線		220,584
敷金	内田ビル倉庫保証金		167,200
保証金	山一ビル事務所保証金		1,032,600
保険積立金	ソニー生命 養老保険		1,190,520
固定資産合計			2,610,904
資産合計			65,764,597
(流動負債)			
未払金	賃金3月2人分	356,000	
	日本年金機構	384,638	740,638
未払法人税等	法人都民税		70,000
未払消費税等	消費税等		177,100
預り金	職員健康・厚生年金保険料		188,966
流動負債合計			1,176,704
(固定負債)			
退職給付引当金	職員退職金		4,550,656
固定負債合計			4,550,656
負債合計			5,727,360
正味財産			60,037,237

財務諸表に対する注記

1. 継続組織の前提に関する注記

当法人は前事業年度において、公益目的支出計画の実施を完了いたしましたが、継続的な当期経常増減額のマイナスに至っております。当該状況により、継続組織の前提に重要な疑義を生じさせるような状況が存在しております。

当法人は「事業報告Ⅲ法人の課題 2. 日本花普及センターの今後について」記載のとおり、解散・清算に向けた準備を進めております。

しかし、これらの対応策を関係者との協議を行いながら進めている途中であるため現時点では継続組織の前提に関する重要な不確実性が認められます。

なお、財務諸表は継続組織を前提として作成しており、継続組織の前提に関する重要な不確実性の影響を財務諸表に反映しておりません。

2. 重要な会計方針

(1) 引当金の計上基準

退職給付引当金・・・期末退職給与の自己都合要支給額から保険会社への拠出積立額を控除した金額を計上している。

(2) 消費税等の会計処理

消費税等の会計処理は、税込方式によっている。

3. 関連当事者との取引の内容

関連当事者との取引の内容は、次のとおりである。

種類	法人等の名称	住所	資産総額	事業内容又は職業	議決権の所有割合	関係内容		取引の内容	取引金額 (単位：円)	科目	期末残高 (単位：円)
						役員の兼務等	事業上の関係				
公益法人の役員及びその近親者	ジャパンフラワーセレクション実行協議会	東京都中央区東日本橋 3-6-17	0 円	花の品種コンテスト事業	—	兼任 3 人	事務局	事務局作業	1,800,000	未収金	1,800,000
公益法人の役員及びその近親者	全国鉢物類プロジェクト協議会	東京都中央区東日本橋 3-6-17	0 円	花き鉢物類振興事業	—	兼任 3 人	事務局	事務局作業	5,077,232	未収金	5,077,232

一般財団法人日本花普及センターが事務局に位置づけられており、事務局業務に要した人件費等の実費相当額を受け入れている。

4. その他

(1) 退職給付に関する事項

① 採用している退職給付制度の概要

確定給付型の制度として、退職一時金制度を設けている。

② 退職給付債務及びその内訳

退職給付債務	5,741,176 円
外部拠出積立額	△1,190,520 円
退職給付引当金	4,550,656 円

③ 退職給付費用に関する事項

勤務費用	972,941 円
退職給付費用	972,941 円

④ 退職給付債務等の計算の基礎に関する事項

退職給付債務の計算にあたっては、退職一時金制度に基づく期末要支給額を基礎として計算している。

(2) リース取引に係る注記

貸借対照表日後 1 年以内のリース期間に係るもの	866,688 円
貸借対照表日後 1 年を超えるリース期間に係るもの	<u>1,769,792 円</u>
合計	2,636,480 円

附属明細書

1. 引当金の明細

(単位：円)

科目	期首残高	当期増加額	当期減少額		期末残高
			目的使用	その他	
退職給付引当金	3,736,594	814,062	0	0	4,550,656

監査報告書

令和6年5月20日

一般財団法人日本花普及センター
代表理事 小栗 邦夫 殿

監事 前田 安正



監事 東方 久男



私たちは、令和5年4月1日から令和6年3月31日までの事業年度の理事の職務の執行を監査いたしました。その方法及び結果について、次のとおり報告いたします。

1. 監査の方法及びその内容

私たちは、理事及び使用人等と意思疎通を図り、情報の収集及び監査の環境の整備に努めるとともに、理事会に出席し、理事及び使用人等からその職務の執行状況について報告を受け、必要に応じて説明を求め、重要な決裁書類等を閲覧し業務及び財産の状況を調査いたしました。以上の方法に基づき、当該事業年度に係る事業報告及びその附属明細書について検討いたしました。さらに、会計帳簿又はこれに関する資料の調査を行い、当該事業年度に係る計算書類（貸借対照表及び正味財産増減計算書）及びその附属明細書について検討いたしました。

2. 監査の結果

(1) 事業報告等の監査結果

- ① 事業報告及びその附属明細書は、法令及び定款に従い、法人の状況を正しく示しているものと認めます。
- ② 理事の職務の執行に関する不正の行為又は法令もしくは定款に違反する重大な事実は認められません。

(2) 計算書類及びその附属明細書の監査結果

計算書類及びその附属明細書は、法人の財産及び損益（正味財産増減）の状況をすべての重要な点において適正に表示しているものと認めます。

(3) 継続組織の前提に関する重要な不確実性

継続組織の前提に関する注記に記載されているとおり、法人は当期経常増減額が継続してマイナスの状況にあることから、継続組織の前提に重要な疑義を生じさせるような事象又は状況が存在しており、現時点では継続組織の前提に関する重要な不確実性が認められる。なお、当該事象又は状況に対する対応策及び重要な不確実性が認められる理由については当該注記に記載されている。財務諸表等は継続組織を前提として作成されており、このような重要な不確実性の影響は財務諸表等に反映されていない。

当該事項は、私たちの意見に影響を及ぼすものではない。

令和5年度決算・予算対比

令和5年4月1日から令和6年3月31日まで

(単位:円)

科 目	令和5年度予算			令和5年度決算	備 考
	実施事業 ※1	法人会計 ※2	合 計	合 計 ※3	
I 一般正味財産の部					
1. 経常増減の部					
(1) 経常収益					
① 特定資産運用益	[0]	[2,000]	[2,000]	[0]	④特定資産の位置づけがなくなったので、受取利息に統合
特定資産受取利息	0	2,000	2,000	0	定期預金利息
特定資産受取利金	0	0	0	0	有価証券
② 受取会費	[0]	[4,700,000]	[4,700,000]	[5,090,000]	団体会員A(都道府県・各種団体・企業・協同組合)1口10万円 団体会員B (企業・協同組合)1口5万円 団体会員C(市町村・企業・協同組合)1口3万円 個人会員 1口1万円
賛助会員受取会費	0	4,700,000	4,700,000	5,090,000	
③ 事業収益	[0]	[7,000,000]	[7,000,000]	[6,877,232]	
ジャパンフラワー強化プロジェクト推進関係業務受託収益	0	4,000,000	4,000,000	5,077,232	農林水産省の公募型補助事業で全国鉢物類振興プロジェクト協議会からの受託業務
事務局業務受託収益	0	3,000,000	3,000,000	1,800,000	JFS協議会の事務局業務受託収入
④ 雑収入	[0]	[7,601,000]	[7,601,000]	[6,680,263]	
受取利息	0	1,000	1,000	2,700	預金利息
雑収入	0	7,600,000	7,600,000	6,677,563	フラワーデータブックの販売等 全国花き輸出拡大協議会担当者関係
経常収益計	0	19,303,000	19,303,000	18,647,495	備 考
(2) 経常費用					予算(事業+管理) →見込(事業+管理)
① 事業費	[0]	[31,016,702]	[31,016,702]	[28,347,983]	3981万 →3730万
給料手当	0	10,983,702	10,983,702	11,071,312	1553万 →1581万
賃金	0	4,990,000	4,990,000	3,962,392	706万 → 566万
退職給付費用	0	552,000	552,000	681,059	78万 → 97万
福利厚生費	0	2,013,000	2,013,000	1,852,293	285万 → 265万
会議費	0	40,000	40,000	55,550	29万 → 31万
旅費交通費	0	250,000	250,000	320,300	57万 → 68万
通信運搬費	0	696,000	696,000	641,908	71万 → 65万
消耗品費	0	600,000	600,000	565,268	61万 → 58万
印刷製本費	0	60,000	60,000	53,867	6万 → 5万
光熱水料費	0	241,000	241,000	198,930	25万 → 20万
賃借料	0	3,233,000	3,233,000	3,421,686	家賃、電話機リース料等 330万 → 349万
手数料	0	70,000	70,000	79,086	7万 → 8万
諸謝金	0	120,000	120,000	110,000	51万 → 80万
租税公課	0	400,000	400,000	252,939	消費税等 41万 → 26万
支払負担金	0	2,800,000	2,800,000	2,769,600	ジャパンフラワーセレクション等 281万 → 278万
図書購読費	0	32,000	32,000	61,476	3万 → 6万
減価償却費	0	1,334,000	1,334,000	333,395	コピー機リース料の減価償却費相当額 136万 → 34万
発注費	0	2,095,000	2,095,000	1,427,947	日本花き卸売市場協会関係など 210万 → 143万
雑費	0	507,000	507,000	488,975	52万 → 50万

科 目	令和5年度予算			令和5年度決算	備 考
	実施事業 ※1	法人会計 ※2	合 計	合 計	
② 管理費	[0]	[8,796,298]	[8,796,298]	[8,953,738]	
給料手当	0	4,549,298	4,549,298	4,744,848	
賃金	0	2,066,000	2,066,000	1,698,168	
退職給付費用	0	229,000	229,000	291,882	
福利厚生費	0	833,000	833,000	793,840	
会議費	0	250,000	250,000	250,382	評議員会・理事会
旅費交通費	0	322,000	322,000	355,011	評議員・理事
通信運搬費	0	14,000	14,000	11,408	
消耗品費	0	12,000	12,000	10,587	
印刷製本費	0	2,000	2,000	88	
光熱水料費	0	5,000	5,000	4,060	
賃借料	0	66,000	66,000	69,830	家賃、電話機リース料等
手数料	0	3,000	3,000	1,489	
諸謝金	0	386,000	386,000	691,035	会計事務所等
租税公課	0	10,000	10,000	5,162	
支払負担金	0	12,000	12,000	12,000	
図書購読費	0	0	0	0	
減価償却費	0	27,000	27,000	6,805	コピー機リース料の減価償却費相当額
発注費	0	0	0	0	
雑費	0	10,000	10,000	7,143	
経常費用計	0	39,813,000	39,813,000	37,301,721	
当期経常増減額	0	△ 20,510,000	△ 20,510,000	△ 18,654,226	
2 . 予備費	0	1,000,000	1,000,000	0	
当期一般正味財産増減額	0	△ 21,510,000	△ 21,510,000	△ 18,654,226	
一般正味財産額期首残高	0	78,691,463	78,691,463	78,691,463	
一般正味財産額期末残高	0	57,181,463	57,181,463	60,037,237	
Ⅱ 正味財産期末残高	0	57,181,463	57,181,463	60,037,237	

※1 実施事業欄は、一般財団法人日本花普及センターの公益目的事業「花と緑の普及による国土緑化の推進事業」の予算額である。
※2 法人会計欄は、一般財団法人日本花普及センターの管理費の予算額である。
※3 令和5年度決算の数値である。

(注)なお、令和4年度決算において、公益目的財産が無くなり、内閣府の承認を頂いたので、全て法人会計である。

(参考)

単位：千円

事業年度	正味財産増減額	正味財産	備 考
平成 29 年度	△ 3 1， 1 2 0	2 0 3， 4 5 8	
平成 30 年度	△ 5 8， 7 3 3	1 4 4， 7 2 5	債務保証損失引当金等計上
令和元年度	△ 1 8， 0 5 3	1 2 6， 6 7 2	有価証券評価益有
令和 2 年度	△ 1 4， 4 7 9	1 1 2， 1 9 2	債務保証関係益有
令和 3 年度	△ 1 7， 6 2 7	9 4， 5 6 5	
令和 4 年度	△ 1 5， 8 7 4	7 8， 6 9 1	花育協議会から寄付
令和 5 年度	△ 1 8， 6 5 4	6 0， 0 3 7	